令和７年度決算特別委員会資料

令和8年10月28日
（2026年）

第３次「山背五里五里のまち　創生総合戦略」に係る施策の取組状況について

（令和７年度）

城　陽　市

令和７年度決算特別委員会資料

頁

【基本目標１】

健康と医療福祉のまち

１．妊娠・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２．全世代・全員健康のまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

３．暮らしを支える地域づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

【基本目標２】

魅力ある職に出会うまち

１．アクティブ産業のあふれるまち・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

２．心豊かな農業づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

【基本目標３】

ゆったり住めるまち

１．住む場所の確保と魅力的な住環境の実現・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

２．誰もがくらしやすいまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

【基本目標４】

とことん遊べるまち

１．にぎわいと交流のまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

２．戦略的なまちの魅力発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

【基本目標５】

たくさん学べるまち

１．次世代の力を育む教育環境の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

２．生涯学習のまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

基本目標１　健康と医療福祉のまち

目標指標	目標値 （令和１１年度）	現状値 （策定時）	実績値 （令和７年度）
子育てしやすい環境づくりに向けた取組の満足度	35.0%	20.4% （令和６年度）	―
高齢者福祉を充実する取組に対する満足度	25.0%	22.3% （令和６年度）	―

【重要業績評価指標（KPI）】

アクションプラン	指標名	所管課	目標値 （令和１１年度）	現状値 （策定時）	実績値 （令和７年度末時点）
１．妊娠・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり	産科医院の誘致成功	こども家庭センター	誘致成功	０件	０件
	保育所等の待機児童数の状況	子育て支援課	０人	０人	０人
	働くことと子育てが両立できる環境が整っていると感じている市民の割合	子育て支援課	54.5%	46.6% （令和６年度）	44.7%
２．全世代・全員健康のまちづくり	自主的に健康づくりを行っている市民の割合	健康推進課	91.1%	86.7% （令和６年度）	81.0%
	特定健康診査受診率	健康推進課	60.0%	46.4% （令和４年度）	46.7% （令和６年度）
	特定保健指導実施率	健康推進課	60.0%	39.4% （令和４年度）	44.7% （令和６年度）
３．暮らしを支える地域づくり	高齢になっても安心して地域で暮らせると感じている市民の割合	高齢介護課	66.8%	63.6% （令和６年度）	56.0%
	認知症サポーターステップアップ研修受講者数	高齢介護課	431人	191人 （令和５年度）	191人

■【アクションプラン（目標指標を達成するための施策・取組）】

１．妊娠・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
産科医院誘致の実現	こども家庭センター	産科等の誘致に関する情報収集を行った。	引き続き、産科等の誘致に関する情報収集を行うとともに、府や医療機関に働きかけを行う。
陣痛タクシーサービスの継続	こども家庭センター	城陽市子育て支援サイト「ＪＯＹ♡ＫＩＤＳ」において周知を行った。	引き続き、城陽市子育て支援サイト「ＪＯＹ♡ＫＩＤＳ」において周知を行う。
不妊治療への助成継続	国保医療課	精神的にも経済的にも負担の大きい不妊治療等の治療を受けている人に対し、負担の軽減を図るため、不妊治療等に要した医療費の一部を、府の制度に加えて独自に上乗せした助成を行った。	引き続き、不妊治療等の治療を受けている人の負担の軽減を図るため、府の制度に加えて、独自に上乗せした助成を行う。
妊婦歯科健診・歯科治療費助成の継続	こども家庭センター/国保医療課	城陽市子育て支援サイト「ＪＯＹ♡ＫＩＤＳ」において周知するとともに、母子健康手帳の交付時に受診勧奨を行った。 妊婦の口腔内のケアと適切な治療を支援し、安心・安全に出産できるよう、妊婦の歯科治療費の一部の助成を行った。	引き続き、城陽市子育て支援サイト「ＪＯＹ♡ＫＩＤＳ」にて周知するとともに、母子健康手帳交付時に受診勧奨を行い、安心・安全な出産のため、歯科治療費の一部の助成を行う。

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
ＩＣＴを活用した城陽すくすく親子アプリによる継続的なサポート	こども家庭センター	城陽市子育て支援サイト「ＪＯＹ♡ＫＩＤＳ」及び母子健康手帳交付時、乳幼児健診時にすくすく親子アプリの利用について周知するとともに、アプリを利用した各種情報提供を行った。	引き続き、利用周知に取り組むとともに、アプリを利用した各種情報提供を行う。
産後ケア事業の充実	こども家庭センター	心身のケアや育児サポート等のきめ細かな支援を必要とする産婦に対し、訪問型及び宿泊型の産後ケア事業を実施した。	心身のケアや育児サポート等のきめ細かな支援を必要とする産婦に対して、早期に産後ケア事業の実施ができるように、妊産婦の相談体制の充実や医療機関との連携の強化を図る。
子育て支援医療費助成の充実	国保医療課	制度の適切な運用を図るため、窓口やホームページにおける制度周知など、広報活動を行った。 入院にかかる医療費の高校生拡充の検討を進め、令和８年９月診療分から拡充することを決定した。	制度の適切な運用を図るため、引き続き、広報活動を行う。 入院にかかる医療費に引き続き、通院にかかる医療費の高校生拡充の検討を進める。
０歳児から２歳児クラスまでの保育所保育料の負担軽減の継続	子育て支援課	２人以上が保育所等の就学前施設に在園している世帯では、第２子半額、第３子以降を無償化し、年収３６０万円相当未満の多子世帯では、年齢制限なく同様の措置を適用するなどの負担軽減を実施した。 府の独自制度として、所得制限を設けた上で、満１８歳未満の児童が３人以上いる世帯のうち、第３子以降を無償化した。	引き続き、国・府の制度に基づき事業を実施する。
子育て支援施策情報発信の推進（ＪＯＹ♡ＫＩＤＳ・ＳＮＳの活用）	こども家庭センター/子育て支援課	城陽市子育て支援サイト「ＪＯＹ♡ＫＩＤＳ」やすくすく親子アプリ、各種ＳＮＳを通じ、子育て関連イベントの発信や子育て関連施策の情報掲載を実施した。	引き続き、城陽市子育て支援サイト「ＪＯＹ♡ＫＩＤＳ」等において、各種子育て支援施策の掲載内容の充実に努める。
待機児童対策の推進	子育て支援課	保育士確保施策等に取り組み、年度当初における待機児童ゼロを維持した。	引き続き、受け入れ体制の維持及び充実に係る取組を行う。
ＤＸの推進による保護者の利便性向上	子育て支援課	保育所のＤＸ推進に取り組み、保護者の利便性向上に努めた。	引き続き、保育所のＤＸ化の維持及び充実による保護者の利便性向上に努める。

２．全世代・全員健康のまちづくり

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
健康づくり事業の推進	健康推進課	ＪＯＹＯヘルスアップ事業などの事業を実施した。腎臓内科医の講演会を実施した。	健康寿命の延伸に向けて、効果的な事業展開を検討する。
生活習慣病等の予防事業の推進	健康推進課	訪問等による生活習慣病等の予防事業を実施した。	個人の生活スタイルを尊重し、個別の状況に応じた生活習慣に関する情報提供等を行い、健康寿命の延伸を図る。
介護予防サービスの充実	高齢介護課	ゴリゴリ元気体操を実践する住民主体の介護予防活動に取り組む団体の育成を目的とした介護予防教室を実施した。 また、介護予防サービスの利用者の自立支援を図るため、介護事業所のサービスの質の向上を支援した。	引き続き、住民主体の介護予防活動に取り組む団体を育成するため、介護予防教室を実施する。 また、介護予防サービスを実施する事業所のサービスの質の向上を支援する。

３．暮らしを支える地域づくり

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
介護人材の確保・育成への支援の推進	高齢介護課	安定的な介護サービスの提供を図るため、京都府社会福祉協議会の京都府福祉人材センターと連携し、市内事業所を対象とした就職フェアを文化パルク城陽で開催した。 また、主任介護専門員資格取得に係る経費の一部補助の実施及び介護人材登録事業を開始した。	引き続き、就職フェアの開催と主任介護支援専門員資格取得に係る経費の一部補助及び介護人材登録事業を実施する。 また、令和８年度より外国人介護人材の雇用に係る経費の一部補助を実施している。
高齢者の生きがい活動の支援継続	高齢介護課	市内に４か所ある老人福祉センターについて、城陽市社会福祉協議会を指定管理者として運営し、各種教室の開催等、高齢者の生きがい活動や学習活動の拠点を提供した。	高齢者の生きがい活動や学習活動の拠点である老人福祉センターについて、令和６年度に実施したアンケート結果をもとに、引き続き今後のあり方を検討する。
高齢者の就業などの社会参加活動の推進	高齢介護課	高齢者に就業機会を提供し、生きがい活動や健康づくりを支援するため、城陽市シルバー人材センターが実施する高年齢者労働能力活用事業に要する経費の一部補助を実施した。	引き続き、城陽市シルバー人材センターが実施する高年齢者労働能力活用事業に要する経費の一部補助を実施する。
認知症高齢者施策の推進	高齢介護課	認知症の人や家族を温かく見守る応援者となってもらうため、認知症サポーター養成講座の開催を支援した。	引き続き、認知症サポーター養成講座及び認知症サポーターステップアップ研修の開催を支援するとともに、認知症に対する正しい理解を促進するための普及啓発に努める。
協働で支えあう体制づくりの推進	高齢介護課	多職種が協働して個別事例を検討することを通じて、地域のネットワークの構築につなげる「地域ケア会議」を開催し、「地域包括ケア」の実現に取り組んだ。 また、市内に３か所ある地域包括支援センターにおいて、市民からの多様な相談に対応した。	住み慣れた地域で高齢者が自立した生活を営めるよう「地域包括ケア」の実現に取り組むとともに、地域包括支援センターを拠点として、介護予防のケアマネジメント事業、権利擁護事業、総合相談事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業の充実に引き続き努める。
高齢者等のごみ出し支援事業の継続	環境課/障がい支援課/高齢介護課	快適な家庭環境を保つため、高齢や障がい等により自力でごみ出しをすることが困難な世帯から排出される家庭系ごみについて、戸別収集を実施した。	快適な生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、引き続き事業を実施する。

基本目標２　魅力ある職に出会うまち

目標指標	目標値 （令和１１年度）	現状値 （策定時）	実績値 （令和７年度）
市内企業の従業者数	25,000人	22,229人 （令和３年度）	20,735人 （令和６年度）

【重要業績評価指標（KPI）】

アクションプラン	指標名	所管課	目標値 （令和１１年度）	現状値 （策定時）	実績値 （令和７年度末時点）
１．アクティブ産業のあふれるまち	マッチング数	商工観光課	146人	98人 （令和５年度）	115人
	アクティブ宣言事業所数	商工観光課	100件	16件 （令和６年度）	28件
２．心豊かな農業づくり	農産物販売金額	農政課	15.3億円	14.2億円 （令和２年度）	16.5億円

■【アクションプラン（目標指標を達成するための施策・取組）】

１．アクティブ産業のあふれるまち

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
人材確保・マッチング支援の推進	商工観光課	京田辺市（２回）、宇治市（１回）と合同企業説明会を開催した。 また、産業支援サイト「ＪｏＩｎＴ」及び働く女性の家に企業の求人情報を掲載した。	引き続き、若年者、就職氷河期世代を主な対象とした企業説明会を開催するとともに、働く女性の家に求人情報の掲示を行い、産業人材マッチングを促進する。
アクティブ事業所の活動促進	商工観光課	アクティブ事業所おうえん補助金により、その取組に係る経費の一部に対して補助を行った。	引き続き、アクティブ事業所おうえん補助金により、活発な事業展開を考えている事業所の取組に係る経費の一部に対して補助を行う。
子育てをしながら就職を希望する女性等への積極的な就労機会の提供	商工観光課	働く女性の家事業として、就労支援講座等を行った。	引き続き、働く女性の家事業にて就労支援講座等を実施する。
創業・スタートアップ支援制度の充実・周知	商工観光課	創業等に要する経費の一部に対して補助を行った（１１事業所）。 また、産業支援サイト「ＪｏＩｎＴ」及び商工会議所にチラシを掲載するなど周知を行った。	引き続き、創業等に要する経費の一部に対して補助を行う。 また、産業支援サイト「ＪｏＩｎＴ」及び商工会議所にチラシを掲載するなど周知を行う。
学びなおしの促進や機会の醸成	商工観光課	城陽商工会議所が実施する講習会開催への支援を行った。	引き続き、城陽商工会議所が実施する講習会開催への支援を行う。
企業誘致に向けた市街地整備の検討	都市政策課	城陽市都市計画マスタープランを改定し、「国道２４号沿道寺田地区」及び「東部丘陵地中間エリア」の２か所について、産業拠点形成と雇用創出につながる土地利用の推進を検討する「産業促進検討エリア」に位置づけた。	地権者等との合意形成、適切な都市基盤施設の整備や農業及び周辺環境と調整を図り、早期の市街化区域編入に努める。

２．心豊かな農業づくり

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
スマート農業導入支援の推進	農政課	府の補助金も活用し、農地観測用ドローン及び農薬散布用ドローンの導入を支援した。	新技術導入によるスマート農業の支援を行う。
６次産業化・販路拡大等による特産物の生産振興	農政課	大阪・関西万博に出店する農業者や、環境負荷低減や農薬を使わない害虫防除に取り組む農業者を支援した。	各特産物における６次産業化農・商工連携を推進する。 開発済み加工品の販路開拓及びＰＲの支援を行う。 市特産物の新商品開発を支援する。
多様な担い手の参画による農地の保全・活用	農政課	地域担い手育成総合支援協議会の事務局として、認定農業者１８戸を再認定した。 ＪＡ青壮年部等を対象に、京都府とＪＡと連携して、「城陽市若い担い手経営講座」を開催した。	若い農業者への支援を行う。

基本目標３　ゆったり住めるまち

目標指標	目標値 （令和１１年度）	現状値 （策定時）	実績値 （令和７年度）
市民の定住意向	85.0%	77.1% （令和６年度）	67.4%

【重要業績評価指標（KPI）】

アクションプラン	指標名	所管課	目標値 （令和１１年度）	現状値 （策定時）	実績値 （令和７年度末時点）
１．住む場所の確保と魅力的な住環境の実現	特定空家等の件数	都市政策課	０件	―	０件
２．誰もがくらしやすいまちづくり	歩道の利便性・安全性に満足している市民の割合	管理課/土木課	34.5%	28.7% （令和６年度）	28.2%
	自主防災組織の防災訓練の実施	危機・防災対策課	100%	80.0% （令和５年度）	90.0%
	コミュニティセンター利用者数	市民活動支援課	260,000人	258,601人 （令和５年度）	287,280人
	男女共同参画啓発イベントの参加者数	市民活動支援課	4,000人	3,431人 （令和５年度）	3,482人

■【アクションプラン（目標指標を達成するための施策・取組）】

１．住む場所の確保と魅力的な住環境の実現

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
空き家活用の推進	都市政策課	空家等対策計画に基づき空家等の所有者に対し空家等管理に係る文書を送付し、空家等の流通促進・利活用等を図った。 また、空き家バンクへの登録及び空家の流通を促進させるため、空き家バンク補助金制度を見直し、「空き家バンク登録促進補助金制度」（令和７年４月１日運用開始）を創設した。	空家等対策を総合的に推進するため、空き家バンク制度の運用を行うとともに、令和７年度より運用を開始した「空き家バンク登録促進補助金制度」の制度周知に努める。
環境共生型のまちづくりの推進	環境課	環境づくりの輪を広げるため、各種事業を実施する際に、城陽環境パートナーシップ会議の会員募集を呼びかけた。	城陽環境パートナーシップ会議の会員数の増加を図るため、事業実施時に会員募集を呼びかける。
カーボンニュートラルの実現	環境課	城陽環境パートナーシップ会議と連携し、カーボンニュートラルを実現するため、各種環境施策を実施した。 また、カーボンニュートラルに向けた取組を実践する市民の方に向けた「城陽市カーボンニュートラル補助金」の交付を行うとともに、市民の環境に対する行動変容を促し、より一層の温室効果ガス排出削減につなげることを目的にエコ・アクション・ポイント事業を実施した。	カーボンニュートラルを実現するため、城陽環境パートナーシップ会議とも連携を図りながら、各種施策を実施する。
「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりの推進	都市政策課	城陽市立地適正化計画を策定し、一定の人口密度を維持していく「居住誘導区域」及び市の拠点・各種サービスの効率的な提供を図っていく「都市機能誘導区域」を定めた。	城陽市立地適正化計画に基づき、快適・良好な居住環境の誘導と都市機能・施設の適正な配置と集積を図り、利便性が高く住み続けられるまちづくりを推進する。

２．誰もがくらしやすいまちづくり

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
歩きたくなる生活道路整備の推進	管理課/土木課	道路パトロールや市民等からの連絡による補修を実施した。 市民が主役のみちづくり事業にて、地域のニーズに対応した道路整備を行い、安全安心みちづくり事業では、道路改良を行った。	道路パトロールや市民等からの連絡による補修を実施する。 引き続き、市民が主役のみちづくり事業にて、地域のニーズに対応した道路整備を行い、安全安心みちづくり事業では、道路改良などを行う。
駅周辺整備の推進	都市政策課	**（山城青谷駅周辺の整備）** 西側駅前広場の整備に向けて、取組を行った。 **（寺田駅周辺の整備）** 寺田駅前まちづくり協議会の支援を行った。 **（長池駅周辺の整備）** 「長池駅南側周辺整備基本計画」に基づき、駅前の公用地の活用に向けた取組を行った。 また、長池まちづくり協議会と協働したまちづくりの機運醸成を図った。	**（山城青谷駅周辺の整備）** 引き続き、駅前広場等の完成に向け、整備を進める。 **（寺田駅周辺の整備）** 寺田駅前まちづくり協議会の支援を継続して行う。 **（長池駅周辺の整備）** 引き続き、公用地の活用に向けた取組を行う。 長池まちづくり協議会の支援を継続して行う。
交通ネットワークの充実（地域公共交通計画の策定）	都市政策課	ＪＲ奈良線の高速化・複線化第二期事業に対し、補助金の交付を行った。 片奈連絡線の整備について、国府に対し、要望を行った。 地域公共交通計画の策定及び実施に関し必要な協議を行うための城陽市地域公共交通活性化協議会設立について、城陽市地域公共交通会議で報告を行った。	ＪＲ奈良線の高速化・複線化第二期事業に対し、補助金の交付を行うとともに、全線複線化について、府に対し、要望を行う。 片奈連絡線の整備について、国府に対し、要望を行う。 地域公共交通計画を策定し、計画に基づき、取組を進める。
市民の防災意識を高める啓発活動の取組推進	危機・防災対策課	城陽市防災訓練を実施した。 各校区の自主防災組織が実施する防災訓練への支援を行った。 まちづくり出前講座や防災学習会を実施した。	城陽市防災訓練を実施する。 各校区の自主防災組織が実施する防災訓練への支援を行う。 まちづくり出前講座や防災学習会を実施する。
自主防災組織の育成・支援	危機・防災対策課	自主防災組織運営補助金の交付により、自主防災組織の運営を支援した。 自主防災組織連絡協議会を開催した。 各校区の自主防災組織が実施する防災訓練への支援を行った。	自主防災組織運営補助金の交付により、自主防災組織の運営を支援する。 自主防災組織連絡協議会を開催し、自主防災組織への情報提供や自主防災組織間の関係づくりを行う。 各校区の自主防災組織が実施する防災訓練への支援を行う。
災害時要配慮者の避難支援対策の推進	危機・防災対策課/福祉課/障がい支援課/高齢介護課	身体障害者手帳（１・２級）、療育手帳（Ａ判定）、精神障害者保健福祉手帳（１・２級）所持の市民並びに要介護３、要介護４、要介護５の介護認定を受けている市民のデータをもとに、避難行動要支援者名簿を更新した。 避難行動要支援者による個別避難計画作成の支援、適切な更新を行った。 要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく訓練を支援した。	避難行動要支援者による個別避難計画作成の支援、適切な更新を行う。 要配慮者利用施設の避難確保計画に基づく訓練を支援する。 引き続き、関係所属と連携し、必要な情報提供を行う。 避難行動要支援者名簿（同意者分含む）の更新を行う。

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
高齢者や障がい者等に向けた非常時の対策	障がい支援課/高齢介護課	身体障がい者のみの世帯を対象に、緊急時の連絡手段確保のため、緊急通報装置設置及び使用料補助事業を実施した。 同報系防災行政無線の音声が聞き取れない方のために、自宅のＦＡＸで同報系防災行政無線の情報が受け取れるインターネットＦＡＸサービスの周知及び登録受付を行った。 障がい者の緊急時に対応するための地域生活支援拠点の整備に向けた準備を行った。 ひとり暮らし高齢者等を対象に、緊急時の連絡手段の確保ならびに地域における高齢者の見守り体制づくりに役立てるため、緊急通報装置設置及び使用料補助事業を実施した。	引き続き、緊急通報装置設置及び使用料補助事業、インターネットＦＡＸサービスを実施し、ホームページ等で制度の周知を図る。 障がい者の緊急時に対応するため地域生活支援拠点の運用を行う。
避難所での生活環境の整備	危機・防災対策課	京都府が定める公的備蓄等に係る基本的な考え方に基づき、備蓄を進めた。 避難所における生活環境の整備として、自動ラップ式トイレ１１台を整備した。	京都府が定める公的備蓄等に係る基本的な考え方に基づき、備蓄を進める。
消防力・救急体制の充実	消防総務課/警防課/救急課	はしご付き消防自動車を安全に運用するためオーバーホールを実施した。 消防職員を増員した。 救急救命士を増員した。 耐震性防火水槽を増設した。（市ノ久保第４幼児公園）	新名神高速道路の開通等に伴う災害事象の変化に対応するため、下記の施策について取り組み、消防力・救急体制の充実を図る。 ・指揮隊２４時間（完全）運用 ・救急車増車及び救急隊増隊 ・消防水利の充実・長寿命化 ・消防職員増員 ・救急救命士増員
防犯対策の推進（防犯カメラ設置など）	危機・防災対策課	新名神高速道路城陽ＩＣ周辺に防犯カメラ４台を設置した。 自治会等による防犯カメラの設置に対し、城陽市防犯カメラ設置補助金を交付した。	犯罪の抑制を図るとともに、犯罪捜査に貢献するため、新名神高速道路のＩＣ周辺や幹線道路の隣接市町との境に防犯カメラを設置する。 自治会等による防犯カメラの設置に対し、城陽市防犯カメラ設置補助金を交付する。
パートナーシップ宣誓制度の導入	市民活動支援課	多様な生き方や考え方を認め合う社会の実現を目指し、令和７年８月１日からパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を開始し、性の多様性に関する市民の理解の増進及び性的少数者の生きづらさの軽減に努めた。	引き続き、パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を運用し、性的少数者などの方々に対する理解の増進や、人権が尊重され、一人一人の個性や多様な生き方及び考え方を認め合える社会の実現に努める。
市民活動の推進	市民活動支援課	自治会長会議、連合会長会議を実施するとともに、自治会だよりを発行するなど、円滑な自治会活動が推進されるよう支援した。 また、自治会活動助成金及び自治会集会所等建設等に係る補助金の交付により自治会活動を支援した。 さらに、地域活動の活性化を図るため、市民活動支援センターにおける取組の充実や、リーダーの発掘・育成に努めた。	令和３年度に実施したアンケート調査結果などを参考に、引き続き自治会支援策の充実を図るとともに、市民の主体的な地域活動を支援する。

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
コミュニティ事業の推進	市民活動支援課	地域住民が主体となっている各コミュニティセンター運営委員会に事業委託することで、あらゆる世代のニーズに対応したコミュニティセンター事業の実施に取り組むなど、コミュニティ事業の推進に努めた。	引き続き、地域住民が主体となったコミュニティセンター運営を支援する。
男女共同参画社会の推進	市民活動支援課	地域における男女共同参画の推進を図るため、「みんなのおまつり　さんさんフェスタ」などの誰もが参加しやすいイベントや講座を開催した。 また、男女共同参画週間事業の啓発を図るため、講演会やパネル展を開催した。	引き続き、地域における男女共同参画の推進を図るため、「みんなのおまつり　さんさんフェスタ」などの誰もが参加しやすいイベントや講座を開催する。 また、男女共同参画週間事業の啓発を図るため、講演会やパネル展を開催する。
多文化共生のまちづくりの推進	秘書広報課	窓口業務や訪問事業等での意思疎通支援施策として導入した翻訳機及びタブレット端末を窓口業務等で活用した。	本市在住の外国籍住民の状況や、京都府・他の自治体における取組を調査するとともに、城陽商工会議所、城陽市国際交流協会や他の部局との情報共有を行いながら、取組の検討を進める。
市民サービスの向上に向けたデジタル技術の活用推進	デジタル推進課	市民サービスの向上に向け、証明書のコンビニ交付の拡充を進めるとともに手続きナビゲーションシステムの導入を実施した。	窓口ＤＸの推進として、税務課での各種手数料の支払いに、キャッシュレス決済を導入し、支払手段の多様化へのニーズに応える。 また、税務課及び市民課の窓口にセミセルフレジを導入し、支払い時間の短縮を図る。

基本目標４　とことん遊べるまち

目標指標	目標値 （令和１１年）	現状値 （策定時）	実績値 （令和７年度）
観光消費額単価	2,913円	2,313円 （令和５年度）	2,512円

【重要業績評価指標（KPI）】

アクションプラン	指標名	所管課	目標値 （令和１１年度）	現状値 （策定時）	実績値 （令和７年度末時点）
１．にぎわいと交流のまちづくり	各種イベントの参加者数の増	商工観光課等	25%増加	169,200人 （令和６年度）	5.3%減少
	総合運動公園宿泊施設の宿泊者数	文化・スポーツ推進課	18,600件	17,177件 （令和５年度）	12,225件
２．戦略的なまちの魅力発信	市ホームページ、ＳＮＳへのアクセス数	秘書広報課	3,786,000件／年	3,566,713件／年 （令和５年度）	3,277,890件／年

■【アクションプラン（目標指標を達成するための施策・取組）】

１．にぎわいと交流のまちづくり

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
各種イベントの実施	商工観光課等	※次々頁参照	
ロゴスランドの魅力向上	文化・スポーツ推進課	老朽化等による施設修繕を実施することで施設の整備に努めた。 また、指定管理者の持つ情報発信力によって市内外へ魅力を発信することができた。	引き続き、指定管理者による施設運営を行い、老朽化等による施設修繕を実施することで施設の整備及び充実を図るとともに、魅力あるレクリエーションの場として多くの人が訪れる機会の創出を目指す。
お茶の京都の推進（広域の観光周遊）	商工観光課	山背古道推進協議会により山背古道ウォーキングイベントを実施した。 京都府立木津川運動公園において実施された宇治茶・山城ごちそうフェスタに参画した。 お茶の京都ＤＭＯと連携し、広域的な観光振興に取り組んだ。	引き続き、山背古道ウォーキングイベントを実施する。 京都府立木津川運動公園において実施される宇治茶・山城ごちそうフェスタに参画する。 お茶の京都ＤＭＯと連携し、広域的な観光振興に取り組む。
ふるさと城陽応援寄附の推進	政策企画課	消防体験やＪＯＹＯ秋花火大会等の体験型返礼品の拡充に努めた。 また、ポータルサイト掲載画像のブラッシュアップを進めたほか、レビュー投稿を促す寄附者向けチラシの作成をする等、寄附獲得に取り組んだ。	市内事業者に対し広く記念品を公募するとともに、営業活動を行うことで、さらなる申込件数の増加を図る。
産官学連携事業の推進	政策企画課	同志社女子大学の講義の一環として、役務を内容とするふるさと城陽応援寄附の記念品について、学生がアイデアを市長の前でプレゼンテーションをする企画を実施した。	引き続き、産官学連携の推進に向けた取り組みを進める。

２．戦略的なまちの魅力発信

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
戦略的な情報発信	秘書広報課	効果的かつ効率的な情報発信を行うにあたり、広報アドバイザー業務を通して得られたノウハウを活用し、発信内容・手法についての分析等を行い、情報発信の強化に努めた。 また、各ＳＮＳとホームページを連携させて活用することで、より効果的な情報発信を行った。	ＳＮＳによる情報発信の強化やホームページの活用などで、より効果的・効率的に情報を発信するとともに、必要とする人へ、適切な情報を届ける仕組みの構築に努める。
シティプロモーションの強化	秘書広報課	ＳＮＳ（特にＩｎｓｔａｇｒａｍ）を中心とした広報活動を強化し、市内のイベント・グルメ・スポットなどの発信に努めた。	さらに市のＰＲを図るために、様々なＳＮＳ広報媒体（Ｉｎｓｔａｇｒａｍ含むＸ・Ｆａｃｅｂｏｏｋ・ＬＩＮＥなど）を使用し、市の魅力発信強化に努める。
新商品開発支援	商工観光課	市特産物を用いた新商品開発（いちじくクッキー）に係る経費の一部に対して補助を行った。	引き続き、市をＰＲできる魅力的な新商品の開発に係る経費の一部に対して補助を行う。

基本目標４　とことん遊べるまち

■【アクションプラン】

１．にぎわいと交流のまちづくり

各種イベントの実施（内訳）

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
光のページェントＴＷＩＮＫＬＥ　ＪＯＹＯの実施	商工観光課	観光協会への補助を行うとともに、広報じょうようなどによりＰＲを行った。	観光協会の実施するＴＷＩＮＫＬＥ　ＪＯＹＯへの補助を行うとともに、ＴＷＩＮＫＬＥ　ＪＯＹＯの広域的なＰＲに協力する。
産業まつりの実施	商工観光課	商工会議所への補助を行うとともに、広報じょうようなどによりＰＲを行った。	商工会議所の実施する産業まつりへの支援を行うとともに、産業まつりの広域的なＰＲに協力する。
山背彩りの市の実施	商工観光課	商店街のにぎわいを促進させるため、山背彩りの市を開催し、イベントの補助を行った。	商店街のにぎわいを促進させるため、山背彩りの市を開催し、イベントの補助を行う。
城陽秋花火の実施	商工観光課	観光協会への補助を行うとともに、広報じょうようなどによりＰＲを行った。	観光協会の実施する城陽秋花火大会の広域的なＰＲに協力する。
城陽茶まつりの実施	農政課	城陽茶まつり実行委員会に対し補助を行い、城陽茶まつりを実施した。	城陽茶まつり実行委員会への補助を行うとともに、城陽茶まつりの広域的なＰＲに協力する。
イチジクフェスタの実施	農政課	イチジクスタンプラリー２０２５として「完熟イチジクのまち城陽」のＰＲを行った。	イチジクスタンプラリー事業を継続的に実施するとともに、ＰＲのぼりの貸出及び販売により「完熟イチジクのまち城陽」のＰＲを推進する。

【重要業績評価指標（KPI）】

各種イベントの参加者数の増（内訳）

指標名	所管課	目標値	現状値 （令和６年度末時点）	実績値 （令和７年度末時点）
光のページェントＴＷＩＮＫＬＥ　ＪＯＹＯの参加者数の増加	商工観光課	25%増加	120,000人	110,000人
産業まつりの参加者数の増加	商工観光課		31,000人	33,000人
山背彩りの市の参加者数の増加	商工観光課		5,000人	2,000人
城陽秋花火の参加者数の増加	商工観光課		5,500人	7,000人
城陽茶まつりの参加者数の増加	農政課		1,500人	2,000人
イチジクフェスタの参加者数の増加	農政課		6,200人	6,300人
		合計	169,200人	160,300人

基本目標５　たくさん学べるまち

目標指標	目標値 （令和１１年度）	現状値 （策定時）	実績値 （令和７年度）
学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	85.0%	79.81% （令和６年度）	84.35%

【重要業績評価指標（KPI）】

アクションプラン	指標名	所管課	目標値 （令和１１年度）	現状値 （策定時）	実績値 （令和７年度末時点）
１．次世代の力を育む教育環境の充実	児童・生徒１人・１台のタブレット端末の更新完了	学校教育課	更新完了	―	更新完了
	放課後子ども教室実施校の数	文化・スポーツ推進課	10校	５校 （令和５年度）	７校
２．生涯学習のまちづくり	生涯学習事業参加者数	文化・スポーツ推進課	3,900人	3,433人 （令和５年度）	4,029人

■【アクションプラン（目標指標を達成するための施策・取組）】

１．次世代の力を育む教育環境の充実

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
基礎学力や基礎体力向上の推進	学校教育課	**（基礎学力の向上）** 城陽市学力向上等推進委員会を中心として、児童生徒の学力の向上と心の教育の推進を図るため、研修大会の開催、講師の派遣の他、専門部会において各校の実践交流及び個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るための方策について協議した。 **（基礎体力の向上）** 文化・スポーツ等特別活動を通して、児童生徒の自発性・実践する意欲を育成し、個性の伸長とバランスのとれた学校教育を総合的に進めた。また、小学校における金管バンド活動、中学校の部活動の充実・支援のため、外部講師を配置した。	**（基礎学力の向上）** 城陽市学力向上等推進委員会において、引き続き、研修、講師派遣、協議等を行い、学力向上プログラムに基づき、認知能力と非認知能力を一体的にはぐくむ教育を展開して基礎学力の向上を図る。 令和７年度同様、主な重点事項を個別最適な学習の推進と協働的な学びの充実とする。 **（基礎体力の向上）** 引き続き、外部講師を配置し、基礎体力の向上を図る。 発達段階に応じた遊び体験の充実させることで運動習慣の定着を図る。
英語教育の充実	学校教育課	ＡＥＴ１０名体制により小中学校で授業を行った。授業のみならず、給食や掃除等の教育活動にも積極的に参加した。 また、国際理解教育として、英語以外の授業でもＡＥＴを伴って指導を行った。 ＡＥＴの指導力向上を図るため、令和４年６月からＪＥＴプログラムコーディネーターを配置し、英語教育の充実を図った。 小中学校の外国語科担当教員を対象に、年間４回市独自の研修会を実施し、より効果的に英語教育を推進するための「外国語科担当教員とＡＥＴの協働体制」について、理解を深めた。	ＡＥＴを１０名配置とし、各校でＡＥＴの計画的な活用を進める。 さらに、ＡＥＴの指導力向上を図るため、ＪＥＴプログラムコーディネーターを引き続き配置し、英語教育の充実を図る。
ＩＣＴ活用・プログラミング教育の推進	学校教育課	民間企業と連携し、市内全小学校でＡＩアプリ（ＢＩＯＭＥ）の利用体験及び構造の理解を図る授業を実施した。 Google workspace for education（無償版）の教育委員会アカウントを取得し、教育現場で活用するための整備を行った。	プログラミング的思考を育むため、各教科の単元計画の中にプログラミングの視点を明確に位置付け、プログラミング教育の充実を図る。 Google workspace for education（無償版）のアカウントを市内全教員、全児童生徒に付与し、ＩＣＴ活用能力の更なる向上を図る。

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
不登校対策の推進	学校教育課	スクールカウンセラーや心の居場所サポーター、まなび・生活アドバイザーを配置し、チームとして個に応じた支援を実施した。 ふれあい教室を週５回開室し、学校に登校しにくい児童生徒を対象に、支援・指導を行った。 また、適応指導教室に通室する児童生徒を対象に、オンライン上でアバターを介してコミュニケーションをとることができる「３Ｄメタバース」を活用し、直接人と接することが困難なケースへの対応を図った。 中学校では、校内サポートルームを開設し、登校はできるが教室に入りづらい生徒を対象に支援を実施した。	継続して、スクールカウンセラー等の専門家の配置を行い、より効果的な活用について推進していく。 また、ふれあい教室の活用について、保護者が知る機会を提供できるよう、周知の在り方について工夫を図る。
学校体育館の空調整備・学校施設等長寿命化計画に基づいた施設整備	施設管理課	学校の体育館に空調設備を整備するため、中学校２校の設計業務委託を実施した。 学校施設等長寿命化計画に基づき、施設の老朽化対策として、中学校１校の屋上防水等改修工事を実施した。	児童・生徒の体調管理に配慮した教育環境の整備、また、災害発生時において地域の避難所としても利用される体育館の熱中症対策のため、引き続き体育館に空調設備を設置する。 引き続き、学校施設等長寿命化計画に基づいた施設整備を行う。
インクルーシブ教育の推進（パワーアシストスーツの配置など）	学校教育課	パワーアシストスーツは、教職員による肢体不自由児の介助の負担軽減を図るために、介助用アシストスーツとして配備している。人や物を持ち上げたり中腰姿勢の動作をしたりする場合において、姿勢を支えることができるため、階段の上り下りを含む児童の教室移動や着替え及びトイレの介助等で活用した。 また、階段昇降機を購入し、車いすを常時使用する肢体不自由児の教室移動時において、教職員の介助のもと、日常的に活用した。	肢体不自由児のより良い学校生活と学習の展開、及び教職員の介助における負担軽減のため、引き続き活用していく。
放課後子ども教室推進事業の拡充	文化・スポーツ推進課	＜各放課後子ども教室の参加人数＞ 古川…水と土曜日に計５６回実施した。 富野…火と金曜日に計５７回、土曜日に計１０回実施した。 青谷…水曜日に計２７回実施した。 久津川…毎月第３火曜日に計１０回実施した。 寺田…毎月第３金曜日に計７回実施した。 寺田南…毎月第３水曜日に計９回実施した。 久世…水曜日に計２４回、土曜日に計１０回実施した。	学校、地域と連携を密にし、教室の新規開設を支援する。 新規開設に向け、核となるコーディネーターの確保する。 持続可能な事業となるよう新規指導員・ボランティアを募集し確保する。

２．生涯学習のまちづくり

施策・取組	所管課	令和７年度の取組状況	今後の取組
市民大学の充実	文化・スポーツ推進課	開講式・閉講式、６コース各３講座、特設講座２講座の計２２講座を開催した。 また、そのうち４講座についてはＹｏｕＴｕｂｅで公開した。	市民が生涯にわたって学習できる機会を提供するとともに、市民の教養・健康の向上を目指し、引き続き、市民各層に向けての生涯学習事業を開催する。
生涯学習施設のオンライン予約の推進	文化・スポーツ推進課	インターネット予約が可能な施設予約管理システムの保守・運用を行った。	インターネット予約が可能な施設予約管理システムの保守・運用を行う。
コミュニティセンター事業の推進	市民活動支援課	あらゆる世代のニーズに対応したコミュニティセンター事業の実施に取り組むなど、コミュニティセンターの利用促進を図った。	コミュニティセンターにおいて地域の特色を活かした活動を展開することにより、地域住民の交流の活性化に努める。 あらゆる世代のニーズに対応したコミュニティセンター事業の実施に取り組む。
エコミュージアムの推進	文化・スポーツ推進課	地域資源を歩いて巡るツアーイベントを１回、講演会を２回、シンポジウムを１回、シンポジウム開催に伴う展示会を１回、ＶＲ体験会を１回開催した。 イベントの開催に伴い、ＳＮＳでの情報発信を計１７回行った。	市民団体等との協働で、地域資源の魅力の体感をテーマとしたデジタルスタンプラリーや、体験型ワークショップを開催していく。 イベントの開催や市内の地域資源に関する情報発信を継続する。
文化芸術・生涯スポーツの推進	文化・スポーツ推進課	城陽市文化芸術表彰の実施や城陽市文化芸術協会への補助金交付及び運営に関する事務的助言・補助により文化芸術の推進を図った。 また、城陽市スポーツ協会への補助金交付及び運営に関する事務的助言・補助により生涯スポーツの推進を図った。	市民の文化芸術活動のさらなる活性化を目指し、城陽市文化芸術協会との連携に努める。 また、市民の生涯スポーツ活動のさらなる活性化を目指し、城陽市スポーツ協会との連携に努める。
スポーツ・レクリエーション施設などの充実	文化・スポーツ推進課	老朽化等による施設修繕を実施することで施設の整備に努めた。 また、指定管理者の持つ情報発信力によって市内外へ魅力を発信することができた。	引き続き、指定管理者による施設運営を行い、老朽化等による施設修繕を実施することで施設の整備及び充実を図るとともに、多くの人が訪れる機会の創出を目指す。